

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	必修科目	1年	
使用教科書	文英堂 Grove English CommunicationⅠ			担当者	

学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
	教科書の内容を中心にワークシート等を使い、英文を読み、聞き、話し、書き、問いに答えることを通して理解する。	
学習方法	また、それを用いて自分の意見を発表したり、他者と意見交換したりなどする。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。
	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
	8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
	以上の観点をふまえ、 授業での取り組み、定期考査、小テストや実技テスト、課題やレポートの実施状況などを総合的に評価します。	
担当者から	ペアワークやグループワークなどのコミュニケーション活動を行い、様々な事柄について英語で理解を深める科目です。積極的に活動に参加するようにしましょう。 また多くの支援を活用し、情報や考えなどを適切に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力を養います。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	自然科学	動物	動物の生態や生息環境について	○		○		○				動物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、動物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	動物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	授業での取り組み 定期考査 小テストや実技テスト 課題やレポートなどを元に評価します
4			それに関わる語彙や文法	○		○		○							
5			自分の興味を述べる表現	○		○		○							
5		科学技術	テクノロジーや科学研究について	○		○		○				テクノロジーに関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、テクノロジーについての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	テクノロジーに対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
6			それに関わる語彙や文法	○		○		○							
6			研究について述べる表現	○		○		○							
7		環境問題	環境問題や自然について	○		○		○				環境問題に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、環境問題についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	環境問題に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
7			それに関わる語彙や文法	○		○		○							
7			調査について述べる表現	○		○		○							
9	国際社会	社会問題	社会問題や政治経済について	○		○		○				社会問題に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、社会問題についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	社会問題に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
9			それに関わる語彙や文法	○		○		○							
9			自分の意見を述べる表現	○		○		○							
10		人物	偉人やある分野で活躍する人について	○		○		○				人物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、人物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	人物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
10			それに関わる語彙や文法	○		○		○							
10			自分の経験を述べる表現	○		○		○							
11		異文化	異文化や多様性について	○		○		○				異文化に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、異文化についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	異文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
11			それに関わる語彙や文法	○		○		○							
11			自分の意見を述べる表現	○		○		○							
12	文化教養	スポーツ	スポーツの背景や意義について	○		○		○				スポーツに関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、スポーツについての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	スポーツに対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
12			それに関わる語彙や文法	○		○		○							

[illegible]

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	論理・表現 I	2	必修科目	1年	
使用教科書	いいずな書店 Harmony English Logic and Expression I			担当者	

学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学習方法	教科書の内容を基にしたプリントを中心に授業を進めていくので、授業を大切に理解を深めてください。	
	自主的に英語を活用する態度を身に着け、実践していきましょう。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。
	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
	8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
		以上の観点をふまえ、 ・授業での取り組み、定期考査、小テスト、パフォーマンステストなどを総合的に評価します。
担当者から	授業で学んだことを理解し、ペアワーク、グループワークなどで実践して定着させましょう。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	自分や身近な人について	人物紹介	紹介する	○							○	自分や身近な人を紹介する表現を理解し、相手の注意を引く表現を適切に運用し、考えや気持ちを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いてテーマに沿って、自分や身近な人を紹介している。また、自分の気持ちや考えを表現している。	自分の活動を振り返りながら、適切な表現を用いてテーマに沿って、自分や身近な人を紹介している。また、自分の気持ちや考えを表現しようとしている	定期考査 小テスト パフォーマンステスト
5			注意を引く	○			○				○				
6		好きなものを紹介	要約する				○	○			○	映画や本のあらすじを要約したり、感想や批評を述べたりする表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや肝紙などを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、あらすじなどを要約して紹介したり、内容に関する感想や批評を述べたりしている。	自分の活動を振り返りながら、あらすじなどを要約して紹介したり、内容に関する感想や批評を述べたりしようとしている。	
7			感想や批評を述べる			○			○		○				
8	日常生活について	道案内をする	提案・依頼する	○	○							提案する、依頼する、道順を説明するときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや肝紙などを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明している。	自分の活動を振り返りながら、物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明しようとしている。	定期考査 小テスト パフォーマンステスト
9			道を案内する			○	○	○							
10		買い物	描写する	○			○		○			描写する、相槌を打つときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写している。また、文脈に応じて相槌を打って、自分の考えや気持ちなどを表現している。	自分の活動を振り返りながら、わかりやすく物事を描写している。また、文脈に応じて相槌を打って、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	
11			相槌を打つ			○			○		○				
12	したいことについて	行ってみたい場所	希望を述べる	○			○				○	希望を述べる、理由を述べるときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、具体的に希望を述べている。また、理論を一貫させて理由を述べ、自分の考えや気持ちなどを表現している。	自分の活動を振り返りながら、具体的に希望を述べている。また、理論を一貫させて理由を述べ、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	定期考査 小テスト パフォーマンステスト
1			理由を述べる			○	○				○				
2		友達に相談する	助けを求める			○	○				○	助けを求め、お礼や感謝を伝えるときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、状況を整理して助けを求めたり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。	自分の活動を振り返りながら、状況を整理して助けを求めたり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	
3			お礼や感謝を伝える	○				○			○				

令和4年度

〔 外 国 語 科 〕 シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	選択科目	2年	
使用教科書	数研出版 Revised BIG DIPPER English Communication Ⅱ			担当者	

学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成すること ナ、ロ、ヒ、ユ		
学習方法	教科書の内容を中心に学習し、習得した内容を元に自分の考えを表現するとともに、生徒同士で考えを共有する。 家庭学習において、日本語から英語に即座に言えるようになるまで音読を繰り返し、また継続的に語い学習を行う。		
学習評価	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
	1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
	2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
	3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
	5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
	6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
	7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
	8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
	以上の観点をふまえ、 授業の取り組みや定期考査、小テスト、課題提出状況などを総合的に評価します。		
担当者から	ワークシートを使用して授業を進めます。 語い力を身につけるために単語帳での学習を年間通じて継続的に行い、授業内ではペアワークなどのアクティビティにおいて積極的な姿勢で臨んでください。		

[illegible]

令和4年度〔外国語科〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	单位数	種別	年次	
外国語	英語表現Ⅱ	3	共通履修科目	3年	
使用教科書	Vision Quest English ExpressionⅡ Hope(啓林館)			担当者	

学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
学習方法	モデル会話文を聞く、読むなどして、英語の基本的な文法や表現を学習し、それをもとに簡単に話したり、書いたり発表することで英語の表現を身に付ける。		
学習評価	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
	1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
	2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
	3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
	5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
	6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
	7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
	8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
	以上の観点をふまえ、授業の取り組みや定期考査、プレゼンテーションやレポートなどの実技、課題提出状況などを総合的に評価します。		
担当者から	文法や表現の学習と、それを使った表現の練習を繰り返していきます。 間違っても良いので、トライ＆エラーを繰り返していくことで、学習した文法を実際に使えるように練習していきましょう。		

[illegible]